



平成24年2月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成23年10月12日

上場会社名 株式会社エスケイジャパン 上場取引所 東大  
 コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 敏志 TEL (06) 6765-0670  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 川上 優  
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日  
 配当支払開始予定日 平成23年11月18日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績 (平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	4,299	△11.9	87	△62.2	81	△64.3	50	△41.3
23年2月期第2四半期	4,879	7.0	230	58.0	229	33.3	85	△73.9

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第2四半期	6	14	—	—
23年2月期第2四半期	10	45	10	45

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
24年2月期第2四半期	3,707		1,918		51.3		231	20
23年2月期	3,300		1,913		57.6		231	27

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 1,901百万円 23年2月期 1,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
23年2月期	—	—	6	00	—	—	6	00	12	00
24年2月期	—	—	6	00	—	—	—	—	—	—
24年2月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	6	00	12	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,500	0.4	288	0.4	290	1.0	245	76.0	29	81

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期2Q	8,359,103株	23年2月期	8,359,103株
24年2月期2Q	133,802株	23年2月期	133,802株
24年2月期2Q	8,225,301株	23年2月期2Q	8,225,520株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. その他 .....	10
(1) 役員の変動 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、チェーン店への販売強化や新たな販路及びキャラクターの発掘、新規事業の推進等、部門ごとの諸施策を推進してまいりましたが、ヒットキャラクターの不在等により商品企画・仕入が思うように進まず、売上高は4,299百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は87百万円（前年同期比62.2%減）、経常利益は81百万円（前年同期比64.3%減）、四半期純利益は50百万円（前年同期比41.3%減）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

当社グループにおける従来のセグメント区分は「卸売事業」及び「小売事業」でしたが、第1四半期連結会計期間より、セグメント情報等の開示に関する会計基準等を適用し、「卸売事業」を「キャラクターエンタテインメント事業」と「キャラクター・ファンシー事業」に、「小売事業」の名称を「リテイル事業」に変更しております。

なお、前年同四半期比較にあたっては、変更後のセグメント区分に組み替えております。

#### <キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、重点施策としてチェーン展開するオペレーターへの販売強化をすすめてまいりましたが、前年同期にヒットした「スージー・ズー」の反動及びヒットキャラクター不在の中で、商品企画が思うように進まず、総じて厳しい状況となりました。また、新規キャラクターの発掘・商品化も行いましたが、全体の業績を押し上げるまでには至らず、売上高は1,914百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

S P（セールスプロモーション）部門におきましては、雑誌の付録のOEMが前年同期の実績を下回り、また、前年同期に好調であった製菓会社向けノベルティー商品の受注も振るわず、売上高は491百万円（前年同期比37.5%減）となりました。

E C（イーコマース）部門におきましては、オリジナルキャラクターである「でぶねこ」「まるねこ」のE C専用商品の開発と投入による他社との差別化や、出店モール内での広告展開といった販促活動を実施しました。

商品では、人気キャラクターのフィギュアや雑貨、夏の省エネグッズが好調に推移し、売上高は51百万円（前年同期比143.3%増）となりました。

以上の結果、売上高は2,457百万円（前年同期比15.2%減）、営業利益は2百万円（前年同期比97.9%減）となりました。

#### <キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、新規のゲームキャラクターの商材が好調であったことに加え、震災による節電の影響で卓上扇風機などの省エネグッズが伸長しましたが、前年の売上を牽引していた人気キャラクターの落ち込みが影響いたしました。

以上の結果、売上高は1,405百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は90百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

#### <リテイル事業>

当事業におきましては、「ナカヌキヤ」3店舗において、広島本通り店及び松山銀天街店は利益を確保しましたが、心齋橋店は観光客の激減及び大阪駅周辺等の新規商業施設へ顧客がシフトしたことにより苦戦いたしました。

「SALAD BOWL」では、広島ASSE店が好調に推移しましたが、尼崎TSUKASHiN店は近隣に新規オープンした大型商業施設の影響等により厳しい状況となりました。

以上の結果、売上高は437百万円（前年同期比11.7%減）、営業損失は12百万円（前年同期は3百万円の営業利益）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ406百万円増加し、3,707百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加額424百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ401百万円増加し、1,788百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額357百万円及び資産除去債務を10百万円計上したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円増加し、1,918百万円となりました。これは主に、新株予約権の増加額5百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて5百万円減少し、865百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、74百万円（前年同期は77百万円の獲得）となりました。

これは主に、売上債権の増加額が424百万円あったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が79百万円、仕入債務の増加額が357百万円及び法人税等の還付額が77百万円あったこと等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、26百万円（前年同期は25百万円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が6百万円及び保険積立金の積立による支出が18百万円（投資活動によるキャッシュ・フロー「その他」）あったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、49百万円（前年同期は65百万円の使用）となりました。

これは配当金の支払額が49百万円あったことを反映したものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の状況を勘案し、当初の業績予想を修正いたしました。詳しくは平成23年10月11日に発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益がそれぞれ542千円減少し、税金等調整前四半期純利益は6,679千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は9,967千円であります。

②表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示していません。

（4）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	865,201	871,000
受取手形及び売掛金	1,406,340	982,039
商品	321,278	327,970
繰延税金資産	14,467	18,960
その他	130,411	143,364
貸倒引当金	△8,837	△5,861
流動資産合計	2,728,862	2,337,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	435,423	428,469
減価償却累計額	△156,144	△150,245
建物及び構築物(純額)	279,279	278,223
車両運搬具	11,666	8,609
減価償却累計額	△6,090	△4,385
車両運搬具(純額)	5,575	4,224
その他	65,050	63,233
減価償却累計額	△50,480	△45,526
その他(純額)	14,569	17,707
土地	266,356	266,356
有形固定資産合計	565,780	566,511
無形固定資産	8,522	7,206
投資その他の資産		
投資有価証券	50,591	50,497
繰延税金資産	1,962	3,792
その他	365,755	352,602
貸倒引当金	△14,339	△17,098
投資その他の資産合計	403,969	389,793
固定資産合計	978,272	963,511
資産合計	3,707,135	3,300,986

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,018,233	661,112
短期借入金	350,000	350,000
未払法人税等	27,226	46,398
繰延税金負債	—	5,620
賞与引当金	48,722	43,774
その他	192,509	140,449
流動負債合計	1,636,693	1,247,356
固定負債		
繰延税金負債	1,909	228
退職給付引当金	8,301	10,645
役員退職慰労引当金	131,410	127,883
資産除去債務	10,026	—
その他	220	1,026
固定負債合計	151,868	139,784
負債合計	1,788,561	1,387,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,039,804	1,038,677
自己株式	△51,190	△51,190
株主資本合計	1,901,450	1,900,323
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,613	4,165
繰延ヘッジ損益	△694	△291
為替換算調整勘定	△2,700	△1,950
評価・換算差額等合計	218	1,923
新株予約権	16,905	11,598
純資産合計	1,918,573	1,913,845
負債純資産合計	3,707,135	3,300,986

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	4,879,807	4,299,558
売上原価	3,557,220	3,151,109
売上総利益	1,322,586	1,148,449
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	404,806	403,657
賞与引当金繰入額	53,606	48,722
退職給付費用	9,439	15,357
役員退職慰労引当金繰入額	3,619	3,526
貸倒引当金繰入額	—	3,228
その他	620,303	586,790
販売費及び一般管理費合計	1,091,775	1,061,283
営業利益	230,811	87,165
営業外収益		
受取利息	190	119
受取配当金	757	1,230
投資有価証券売却益	1,698	—
法人税等還付加算金	—	2,091
その他	4,976	2,221
営業外収益合計	7,623	5,662
営業外費用		
支払利息	2,778	2,066
投資有価証券評価損	2,650	1,185
為替差損	3,160	6,979
その他	841	810
営業外費用合計	9,431	11,042
経常利益	229,003	81,786
特別利益		
固定資産売却益	—	183
貸倒引当金戻入額	345	3,125
新株予約権戻入益	144	192
特別利益合計	489	3,501
特別損失		
固定資産売却損	110	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,136
商品不良損失	102,931	—
特別損失合計	103,042	6,136
税金等調整前四半期純利益	126,450	79,151
法人税、住民税及び事業税	36,935	26,564
法人税等調整額	3,568	2,108
法人税等合計	40,504	28,672
少数株主損益調整前四半期純利益	—	50,478
四半期純利益	85,946	50,478



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	126,450	79,151
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,136
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,994	4,947
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,619	3,526
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,008	217
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△105	△2,344
差入保証金の増減額(△は増加)	△15,470	1,146
受取利息及び受取配当金	△948	△1,349
支払利息	2,778	2,066
投資有価証券評価損益(△は益)	2,650	1,185
売上債権の増減額(△は増加)	△316,267	△424,443
たな卸資産の増減額(△は増加)	64,038	6,646
仕入債務の増減額(△は減少)	518,883	357,676
その他	△124,228	13,546
小計	268,387	48,111
利息及び配当金の受取額	1,083	1,401
利息の支払額	△2,762	△2,061
法人税等の支払額	△188,803	△50,247
法人税等の還付額	—	77,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,904	74,229
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,971	△6,258
投資有価証券の売却による収入	18,819	—
その他	△29,202	△19,894
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,354	△26,153
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△9	—
配当金の支払額	△65,424	△49,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,433	△49,092
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,055	△4,781
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,938	△5,798
現金及び現金同等物の期首残高	823,796	871,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	805,857	865,201

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,384,536	495,271	4,879,807	—	4,879,807
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,532	—	1,532	(1,532)	—
計	4,386,068	495,271	4,881,340	(1,532)	4,879,807
営業利益	227,230	3,120	230,350	460	230,811

(注) 1. 事業区分は、販売方法の類似性を考慮し、卸売事業、小売事業に区分しております。

2. 各事業区分の主な役務

(1) 卸売事業・・・キャラクターグッズ等のアミューズメント施設、物販専門店・量販店等への卸販売及び  
電子玩具・電子雑貨等の企画開発

(2) 小売事業・・・キャラクターグッズ、化粧品、コスメティック等の小売

3. 営業費用のうち、配賦不能営業費用はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、㈱エスケイジャパン、㈱サンエス、㈱ケー・ディー・システム、㈱ナカヌキヤ、SKJ USA, INC. の5事業会社を軸として展開しており、以下の事業内容に基づき「キャラクターエンタテインメント事業」、「キャラクター・ファンシー事業」、「リテイル事業」の3つを報告セグメントとしております。

<キャラクターエンタテインメント事業> ㈱エスケイジャパン SKJ USA, INC.

主として、キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー等を国内外のアミューズメント施設へ販売する事業及び企業の販売促進商品を企画販売する事業であります。

<キャラクター・ファンシー事業> ㈱サンエス ㈱ケー・ディー・システム

キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー等を雑貨専門店や量販店等へ販売する事業であります。

<リテイル事業> ㈱ナカヌキヤ

「ナカヌキヤ」「SALAD BOWL」で生活雑貨、コスメ等を販売する事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成23年3月1日 至平成23年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	リテイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,457,322	1,405,007	437,228	4,299,558	—	4,299,558
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,702	108,174	—	120,876	(120,876)	—
計	2,470,024	1,513,181	437,228	4,420,434	(120,876)	4,299,558
セグメント利益 又は損失(△)	2,493	90,887	△12,699	80,681	6,483	87,165

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額6,483千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### (1) 役員の異動

###### ①代表者の異動

該当事項はありません。

###### ②その他の役員の異動

監査役の異動

退任監査役（非常勤）

西田 昌弘（平成23年8月31日付で辞任により退任）

###### ③執行役員の異動

該当事項はありません。